



院長コラム
聖書の一節から
From the Bible



*Then Jesus told his disciples,
“If any want to become my followers,
let them deny themselves
and take up their cross and follow me.”
“Come to me, all you that are weary
and are carrying heavy burdens,
and I will give you rest.”
(Matthew 16:24 and 11:28)*

New Revised Standard Version

それからイエスは弟子たちに言われた、
「だれでもわたしについてきたいと思うなら、
自分を捨て、自分の十字架を負うて、わたしに従ってきなさい。」
「すべて重荷を負うて苦労している者は、
わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。」

(マタイによる福音書16章24節および11章 28節 口語訳)

人生にはいかに多くの苦しみがあることでしょうか。それが自らの非によってもたらされたものであるならば、人はその苦しみを甘んじて受け取ることに納得できるかもしれません、それが自らの非とは思えないとき、その苦しみはいや増すばかりです。

しかし、自分で意識するしないにかかわらず、その歩みがキリストの示された道に通ずるものであるとき、それは単なる苦しみではなく

く、キリストの十字架—それは死によって最終的な無に帰すような無意味なものではない労苦—につながる意味があり、そしてそこにはキリストの慰めと平安が約束されている、と聖書は語ります。

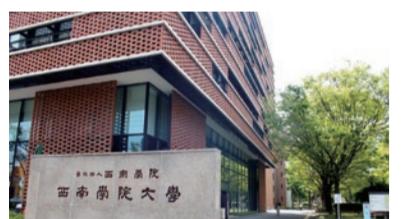
建学の精神「西南よ、キリストに忠実なれ」を遺されたC.K.ドーディー先生の歩みもまた、自らの十字架を負ってキリストに従った人生だったといえます。

西南学院 院長
いまい なおき
今井 尚生

School Organization Chart

1万人を超える学生、生徒、児童、園児が通う西南学院。

西南学院は、保育所・幼稚園から大学・大学院まで擁する全国でも数少ない総合学園です。
保育所から大学院まで一貫した理念に基づいて、保育、教育を実施しています。※データは2023年7月現在



西南学院大学

学生数: 約8,200人

1949年に開設。人文・社会系統合大学です。開学当時からキリスト教に基づく人格教育を実践してきました。また、1971年に他大学に先駆けて国際交流制度を導入し、外国語教育をはじめとする国際教育の充実・向上を図っています。長年にわたって培われてきた伝統は、社会的に高く評価されており、同窓生たちは、九州の経済界をはじめ、教育、マスクミ、法曹、福島など多方面で活躍しています。



西南学院中学校・高等学校

【高等学校】生徒数: 約1,300人

【中学校】生徒数: 約650人

全学年、毎日1限目から7限目まで7時間の授業が行われています(月曜のみ8時間)。多様化する大学入試にも対応できるように、習熟度や進度の違いに配慮して授業を実施しています。知識の習得はもちろん、物事の善し悪しを判断する知恵、「自分にしつけたいことを隣人に伝えよう」という積極的な生き方を身に付け、それをいかに社会で生かしていくかを学びています。



西南学院小学校

児童数: 約420人

2010年に開校した、西南学院の中でも最も新しい学校です。心身ともに成長著しい小学校の課程において、キリスト教の精神に基づいた教育理念のもとに「誠人愛を育む」「知識を育む」ことを目標として、平和な未来を創るために子どもたちの育成に努めています。環境に配慮して設計された校舎内は最新の教育機器を備えており、教育の質的向上が図られています。



西南学院舞鶴幼稚園

園児数: 約170人

福岡市内で最も歴史のあるキリスト教主義の幼稚園です。「心ゆたかでたくましいひかりのこども」を目指して、太陽と土と水と緑に触れながら感性豊かに育ち合う子どもたちを育成しています。一人ひとりの子どもの気持ちをくみ取ることができるように、各クラスを複数担任で受け持っています。思いやりの心を培いながら、個性豊かにのびのびと生きていく力を育む保育を実践しています。

Vol. 13

September 15, 2023

赤煉瓦通信

～一粒の麦から～

2023年9月15日発行(年2回発行)
学校法人西南学院 総合企画部 広報・校友課
〒814-8511 福岡市早良区西新6-2-92
TEL: 092-823-3248
koho@seinan-gakuin.jp

【“一粒の麦”について】

「一粒の麦」は、イエス・キリストが言られた「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒の麦のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ」を語源としたものです。広い世界の中で、西南学院は「一粒の麦」であり、西南学院で学ぶ一人ひとりもまた「一粒の麦」と言えます。「一粒の麦」が持つ可能性を信じ、社会のために尽力していくことこそが創立者の想いであり、今もなお大切に受け継がれています。

西南学院

<https://www.seinan-gakuin.jp>

西南学院大学・大学院
西南学院中学校・高等学校
西南学院小学校
西南学院舞鶴幼稚園
西南学院早翠子供の園(保育所)

赤煉瓦通信 Vol. 13

September 15, 2023

あ

か

れ

ん

が

西南学院



竹馬への挑戦を通じて
身も心も成長する園児たち

2023年に110周年を迎えた西南学院舞鶴幼稚園で40年以上前から続く恒例行事「竹馬づくり」。毎年6月、保護者の皆さんが園に集まって年長園児と一緒に竹馬を作ります。好きな色や飾りで彩られた、世界で一つだけの竹馬を前に喜びを隠せない様子の園児たち。中には、できたそばから竹馬に乗り始める園児もいます。10月に行われる「秋の会」でのお披露目に向けて練習を重ねていきますが、全員がすぐに乗れるというわけではありません。運動の得意・不得意や上達速度も人それぞれ。先生たちは、園児たちの気持ちが向いて自主的に練習する経験を大切にしようと優しく見守ります。

毎年、早く乗りこなせるようになった園児が周りの友だちにアドバイスしたり、お互いに励まし合ったりする姿が園庭のあちらこちらで見られるように。これが竹馬活動の醍醐味です。苦手なことや自分の目標に向かって一生懸命に取り組む努力や友だちと切磋琢磨する経験は、身体面だけではなく精神面の成長にもつながります。身も心もたくましくなっていく園児たちの表情は、喜びや自信に満ちていてとても輝かしく見えます。



Challenge 1



[特集] 西南学院とチャレンジ

壁や困難にぶつかって乗り越える経験は人を大きく成長させてくれます。

西南学院の大学・各学校・園・保育所に学ぶ

学生・生徒・児童・園児たちも日々挑戦を続け、

目標に向かって努力を重ねては目覚ましい成長を遂げています。



海外の生徒たちと
交流をする中で視野が広がり、
自分の成長を実感

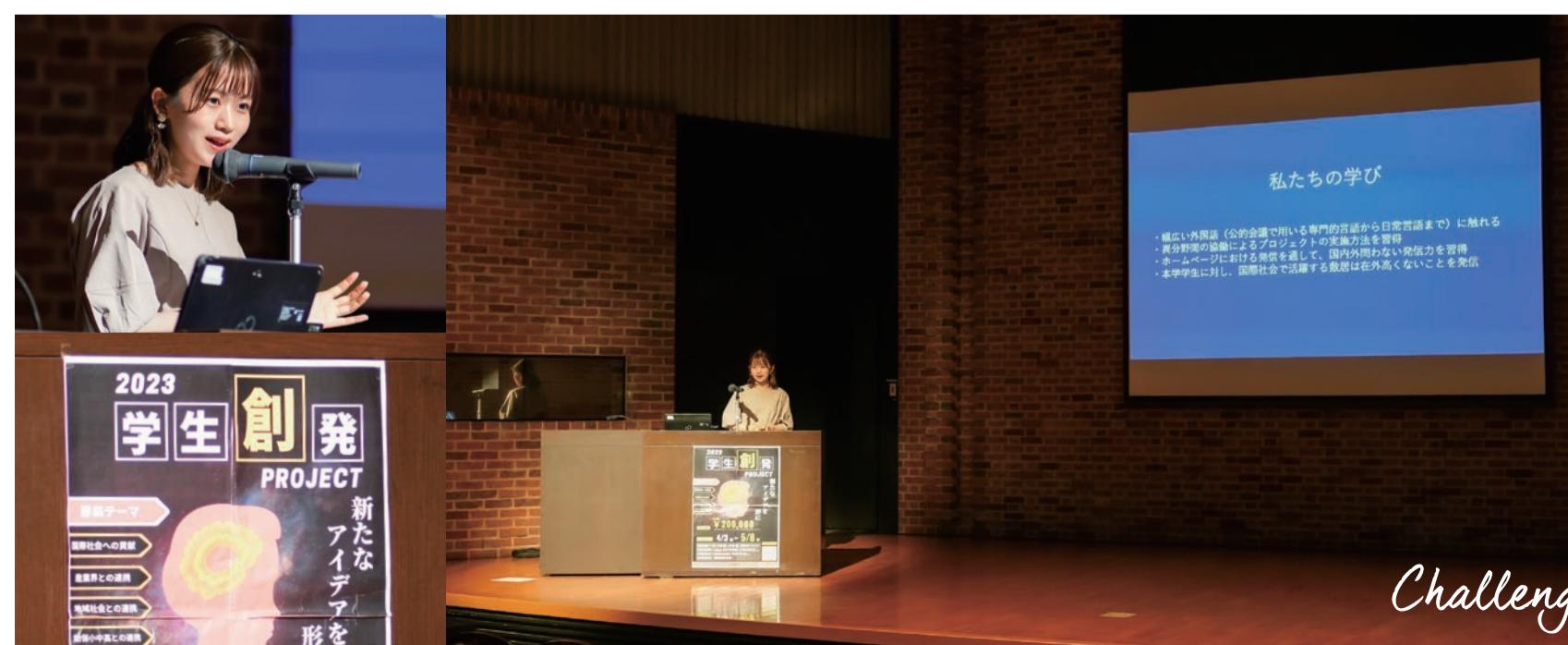
公募により選抜された日本人メンバーアイ18名に見事選ばれ、2022年7月24日～30日に行われた「アジアサイエンスキャンプ2022」にオンライン参加した西南学院高等学校3年生の田代英華さん。ノーベル賞受賞者による講義や海外の生徒とのディスカッションによって、自分の視野が大きく広がったそう。「これからも挑戦を重ねて自分を成長させていきたい」と話してくれました。



Challenge 3

読書感想文全国コンクールで
福岡県特選に!
国語が不得意でも諦めずに挑戦

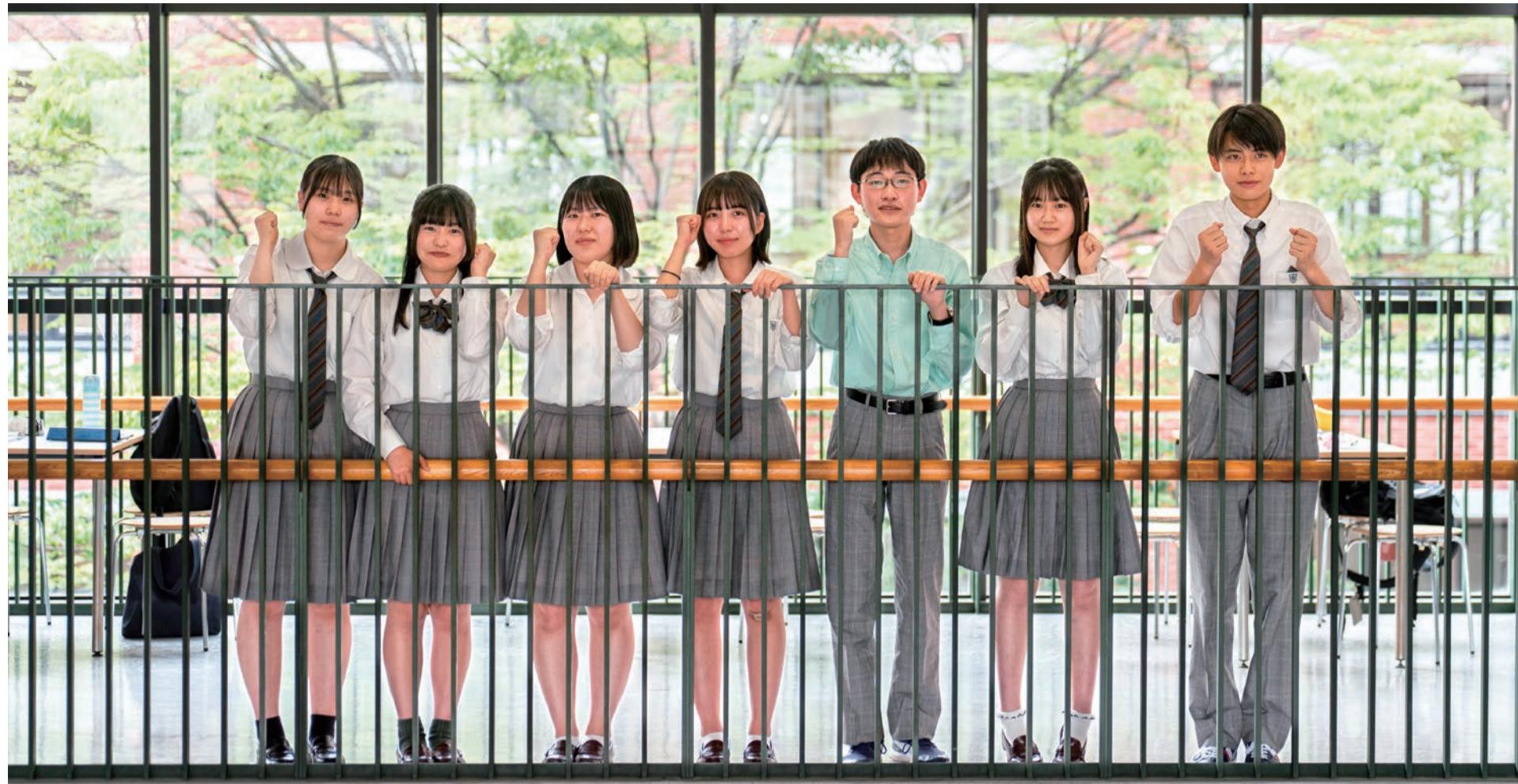
西南学院中学校2年生(当時1年生)の木室湊太さんが書いた「海を見た日」の感想文が「第68回青少年読書感想文全国コンクール」の福岡県特選に選ばれ、中央審査会(全国コンクール)に進みました。「国語は苦手」と話す木室さんですが、「主人公になりきることと、登場人物の視点に立つことを大切にしました」と言います。



Challenge 4

みずみずしい感性で
立ち上がったプロジェクト。
実現できる日まで
チームの挑戦は続く

知的探求心に溢れる学生の取り組みやアイデアを支援する西南学院大学の「学生創発プロジェクト」。2023年度に採択されたうちの一つは、子どもの声に耳を傾け、教育現場に落とし込んでいくことを目指す「津和野町およびバリ市との教育架け橋プロジェクト」です。チームリーダーの西南学院大学外国語学部外国语学科3年生の井上佳音さんは「これは入り口に過ぎない」と挑戦を続ける意欲を見せました。



Challenge 5.



一人ひとりの努力が
大きな成果へと
つながった文化祭

西南学院中学校・高等学校の文化祭が2023年7月14日・15日に開催されました。コロナ禍からの再生とにかくが戻る様子との願いが込められた今回のテーマは「再声」。「感染対策はしつも、みんなが声を出せる活気のある文化祭に」という生徒会の想いから、今年は地域の皆さんに協力を仰ぎ、初めて西新商店街の飲食店の物販が実現しました。各クラスの文化祭委員は商店街で人気の店舗に連絡を取り、文化祭で商品を出してもらえるよう交渉を重ねたそう。文化祭委員のメンバーは「慣れない挑戦に大変さもありましたが、クラス一丸となって挑めました」と振り返ります。7月15日には3年ぶりに一般入場も解禁し、「再声」というテーマ通り、生徒のご家族や地域の方々の来場も多く、喜びの声が響き合った思い出深い2日間となりました。



西南学院舞鶴幼稚園の
恒例行事「合宿保育」。
寂しさを乗り越えた
先にある達成感

西南学院舞鶴幼稚園では年に一度、合宿保育を実施しています。多くの園児にとって家族と離れて泊まるのは初めて。中には不安や寂しさをこらえきれずに涙を流す子もいます。しかし、料理や買い物、花火など、仲間と一緒に話し合って、考え、決める経験によって得られる達成感は大きな成長につながります。合宿保育後には「身の周りのことを自ら進んでもういる」と園児の変化に驚く保護者も多いそうです。



Challenge 6



西南学院のチャレンジ

さまざまなことに挑戦する
学生・生徒・児童・園児を応援すべく、
西南学院もチャレンジを続けています。

小学校ランチルーム再開

3年ぶりの合同ランチ再開で 絆が深まる児童たち

西南学院小学校は、2023年4月からランチルームでの1・6年生合同ランチを再開しています。6年生の応援で苦手な食べ物を克服できた1年生もいて、異学年交流の大切さを改めて実感します。



小学校教育実習

卒業生が教育実習にチャレンジ! 校内に新しい風が吹き抜ける

「母校で実習がしたい」という卒業生の希望を受け、西南学院小学校では2回目となる教育実習を実施しました。フレッシュで何事にもチャレンジしようとする実習生の姿により活気ある教育現場となりました。



Column

安心の基地を土台に 自分の世界を広げて

おにづか れな
早緑子供の園 保育士 鬼塚玲奈

私たちは、家庭と連携を図りながら園児のそれぞれの発達段階に応じた保育を行って、一人ひとりの成長を見守っています。0~2歳児クラスでは「育児担当制」を取り入れています。

子どもは、いつも同じ保育者が同じ方法やテンポで援助することで安心感を抱き、自分の気持ちや身体などを理解し、必要に応じて援助してくれる保育者との愛着関係を結びます。そのため、集団生活の中でも保育者と1対1で親密に関わり合う場や時間を持つことも大切にしています。そして、その保育者との関係が基盤となった安心の基地を土台に、自分の世界を広げていきます。日々の生活や遊びによって主体的に取り組む経験は、子どもが成長し発達していく力となります。子どもたちが、新しい場、もの、事柄に出会い、自ら働きかけ、うまくいかなくとも何度も挑戦して取り組む意欲こそが、新たな経験を生み、心身の豊かな発達につながっていくことでしょう。





西南学院で学び、さまざまな場所や分野で
個性を輝かせている卒業生の皆さんに、
今のお仕事の話や在学中の思い出を語っていただきます。



限られた人生の時間。 考えるより先にまずやる力を。

トゥモローゲート株式会社 代表取締役 最高経営責任者

にしきや こうへい
西崎 康平 さん 西南学院大学 経済学部経済学科国際経済学専攻
(現:経済学部 国際経済学科)2005年卒業

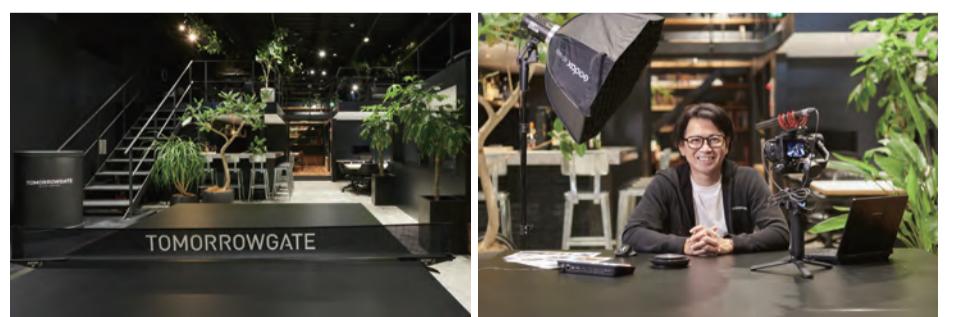
1982年生まれ。大学卒業まで福岡で過ごし、就職を機に大阪に拠点を移す。
現在は経営者として多方面で活躍し、メディア出演やイベント登壇も多数。



トゥモローゲートは、コンサルティングとブランディングを事業の柱とし、企業と個人の両面に寄り添う提案をしている

家から近くで垢ぬけた大学。そんな理由で西南学院大学への進学を決めました。当時はやりたいことが明確になく、ボランティアサークルやアルバイト、友人との遊びなど、日々楽しく過ごすことに一生懸命でしたが、決して「真面目な学生」とはいえなかったと思います(笑)。転機になったのは就職活動でした。自由を望む自分にとって、一般企業で働く自分の姿をどうしても想像できず、「いっそ、自分が働きたくなるような会社をつくろう」と決意。就職は起業のための準備期間と捉え、卒業後は人材系のベンチャー企業で働き、27歳で「トゥモローゲート」を創業しました。

皆さんの中には、将来の夢が分からず不安を抱えています。目標に向かって突き進んでいたり、さまざまな人がいると思います。共通して伝えたいのは「やりたい」と感じたらすぐに行動に移すことの大切さです。行動すれば景色が変わるし、もし思った通りにいかなくてもその経験が



「世の中に蔓延するブラック企業を塗りつぶすブラックな企業」

2025年までに「大阪で一番オモロイ」会社を目指し、SNS総フォロワー数50万人を獲得するため精力的に情報発信中

特別講座: 西崎康平社長の仕事講座 現役社長が仕事の心構えを指南! 学生も興味津々の熱い90分間

6月12日(月)、西南学院大学では西崎社長の特別講座を開催。「会社の選び方」「企業が直接で見るポイント」「仕事で成果を出す人の共通点」など、就職活動と起業を経験した西崎社長ならではの視点でお話いただきました。

途中、「言語化や論理的思考が苦手」と悩む学生に「親や友人を相手に話したり、隣りに座った人に挨拶をしたりするところから始めてみて。小さなチャレンジを重ねて自信を育てていくといい」とアドバイスする場面も。実際に役立てられる話題が豊富で、学生たちは真剣に耳を傾けていました。

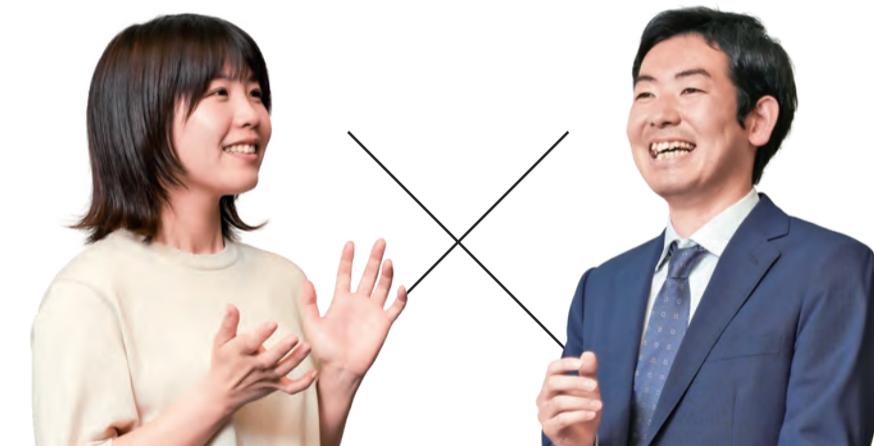


YouTubeチャンネル
「西崎康平 ブラックな社長」
<https://www.youtube.com/@koheinishizaki>
Twitterアカウント @koheinishizaki



学びの現場から

西南学院の大学・各学校・園・保育所では、
学生、生徒、児童、園児の成長のために教職員が一丸となり、
より良い教育を目指して
日々さまざまな取り組みを行っています。



言語能力を高めて 考える力を育む読書習慣

—藤川 読書習慣を身に付けることにはさまざまな意義があると思いますが、小学校では特にどのような点に注目していますか。

—西田 言語能力を高めてくれる点ですね。語彙の量を増やすには話し言葉だけでなく書籍などで使われる書き言葉に触れる機会を増やすことが大切といわれています。語彙が増えると学力向上はもちろん、表現力の基礎になります。また、物語を読むことで思考力や想像力が鍛えられたり、多様な感情に触れられたりするのも読書の魅力です。特に、ネガティブな感情を体験することは他人の気持ちを理解して寄り添う心を養うきっかけになるので、児童たちには積極的に本を読んでほしいと思っています。



西南学院中学校・高等学校
国語科教諭・司書教諭
ふじかわ ちは
藤川 千穂

西南学院小学校
司書
にしだ しんじ
西田 晋慈

読書体験の共有で 友人同士の理解が深まる

—藤川 ネガティブな感情は、気が付けば心の中に生まれるものなので、それにどう向き合えるかを考える力も、読書で身に付けることができますよね。また没頭できるのも読書の醍醐味だと考えています。今の時代、良くも悪くも常に情報に触れ、誰かとすぐにつながることができますが、本の世界に集中し、あえて孤独になると有意義な時間だと思います。近年、分かりやすく作られた映像系のコンテンツが増えていますが、本は文字だけを頼りに登場人物の立場に立って想像し考えを巡らせます。本と自分に向かい、孤独な時間や没入する体験は読書ならではの楽しみですね。

—西田 孤独に向かい合う時間が持てるのは確かに読書の醍醐味の一つですね。一方で、他者と共有できるのも読書の楽しみだと思います。小学校では、週に一度、45分間の図書の時間を設けています。その中で、児童たちのお薦めの本や印象に残ったフレーズを伝え合うこともあります。意見を交換することで友人の新たな一面を知り、本を読む楽しさを見いだした児童もいるようです。

—藤川 他者と共有することは良いアウトプットの機会になりますよね。今年の4月、中学3年生に、2冊の本を共通のキーワードで束ねて紹介する「ブックトーク」に挑戦して



もらいました。他者に分かるように本の内容を言語化するのは大変だったようですが、年度初めに生徒たちの相互理解が深まるきっかけになりました。

—西田 「ブックトーク」は小学校でも取り入れています。読んだ感想を誰かに伝えたり、共感したりすることで「もっと読みたい」という気持ちが刺激されているように見えますね。自分が感じたことを文字や言葉にまとめて理解が深まり、記憶にも残るのでとても良い取り組みだと思います。

—藤川 それから読書習慣を身に付けるきっかけとして「本を読むのは楽しい」という姿を私たち大人が見せていくことも大切ですね。

—西田 そうですね。私も、図書の時間と一緒に本を読んだり、日頃読書を楽しんでいる様子を話したりしています。ご家庭でも、お子さんと一緒に読書を楽しんでいただけるといいなと思っています。

—藤川 強制されると読みたくないくなってしまうものです。周りの大人や友人が楽しそうに本を読んでいる様子が伝われば、自然と読書に興味を持ってくれると思います。授業や図書の時間を通して、これからも読書の楽しさを伝えていきたいですね。

SEINAN GAKUIN information

～西南学院からのお知らせ～

「第18回 ホームカミングデー」のご案内

西南学院大学では、卒業生の皆さまをキャンパスにお迎えし、懐かしい仲間と再会して交流・親睦を深めていただくために、「ホームカミングデー」を開催しております。今年度は大学祭の開催時期にあわせて、以下の日時で開催いたします。

懐かしのあの場所、思い出の母校に帰つてきませんか？お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

日 時：2023年11月11日（土）
10:00～
場 所：大学チャペル

※詳細につきましては、10月初旬に西南学院大学公式ホームページに掲載いたします。
※例年、卒業後10年、20年、30年、40年、50年および60年目の皆さまを対象にしておりましたが、昨年度より対象期をなくし、希望する卒業生の皆さんにご参加いただけるように改めました。

【お問い合わせ】
総合企画部 広報・校友課
TEL:092-823-3248
E-mail:koyu@seinan-gu.ac.jp



昨年度の様子

西南学院大学新体育館・プール棟竣工！



西南学院大学新体育館・プール棟が2023年6月末に竣工し、新体育館の名称が「西南学院大学体育館（ジムナシオン）」に決定しました。新体育館は、西南学院のブランドイメージを象徴するレンガを基調とした外観で、屋上に太陽光パネルを設置し、環境負荷低減および省エネルギー化を図るなど環境にも配慮した施設です。福岡市との防災協定により、災



このメインアリーナの他に、サブアリーナも2室備える

年を迎える5月20日（土）に西南学院大学チャペルで記念式典が行われました。

今後も「心ゆたかでたくましいひかりのこ」を目指して一人ひとりの個性を重視し仲間と共に育ち合う子どもたちを育てていきます。

メールマガジン 「西南学院Letter」に ご登録ください！

メールマガジン『西南学院Letter』は、西南学院のNEWSやイベント情報などをおよそ月に2回の頻度でお届けいたします。



※携帯電話のメールアドレスをご登録の場合は、ドメイン名「seinan-gu.ac.jp」からのメールを受信可能な状態に設定をお願いいたします。

読者アンケートに ご協力ください！

今後の赤煉瓦通信の企画、制作等の参考とさせていただきます。ご回答いただいた方の中から抽選で西南学院オリジナルグッズをプレゼント！読者の皆さまからの感想やご意見・ご要望など、お寄せください。

アンケートはこちらから▶

（受付期間 2023年11月30日（木）まで）

西南学院大学サポーターズ募金ご協力のお願い

2018年4月から開始した西南学院大学サポーターズ募金では、寄付者のご意向に沿った目的に使用するために使途をお選びいただけます。

皆さまのお気持ちが本学のさまざまな活動の大きな支えになりますので、ご協力をお願いいたします。

＜選べる使途の種類＞

- | | | |
|---------------|--------------|-----------------|
| 1 大学給付奨学金 | 2 教育・研究活動支援 | 3 スポーツ・文化活動支援 |
| 4 グローバル人材育成支援 | 5 ボランティア活動支援 | 6 新体育館・プール棟建設支援 |

寄付者銘板のご紹介

ご寄付いただいた個人様、団体様、法人様のご芳名を刻銘した銘板を、西南学院百年館（松緑館）の1階に設置し、末永く顕彰いたします。

【個人】5万円以上
【団体】10万円以上
【法人】50万円以上
の寄付をいただいた方



西南学院大学 サポーターズ募金に 関するお問い合わせ

西南学院 総合企画部 広報・校友課
TEL:092-823-3248
FAX:092-823-3249
E-mail:koyu@seinan-gu.ac.jp

西南学院大学
サポーターズ募金
ホームページは
こちら▶▶▶



「スポーツ・文化活動支援」への ご寄付を物品購入等に 活用させていただきました。

サッカー部

遠征交通費として活用いたしました。ご寄付いただきました方々に改めてお礼申し上げます。



第46回
九州大学サッカートーナメント大会
ベスト4!

ラグビー部

スクラムマシンと撮影機器一式を購入いたしました。ご寄付いただきました方々に改めてお礼申し上げます。



SEINAN TOPICS

大学・各学校・園・保育所の近況

西南学院早翠子供の園（保育所）

「いつも守ってくれてありがとう」

年長児が院長室を訪問

6月の花の日、花も人間も神様に与えられ、愛されて成長していることに感謝をし、家から持ち寄った花を囲んで礼拝を守りました。年長児は院長室を訪問し、花束とイラスト入りのカードを感謝の気持ととともに届け、懇談。院長に質問をしたり、子ども讃美歌「ぱらばらおちる」と一緒に歌つたりと、とても温かい時間を過ごすことができました。



「今井先生のお顔を描いたよ。」

西南学院舞鶴幼稚園

全園児で大はしゃぎ！

ダイナミックな「全園どろんこ遊び」

5月25日・26日の2日間にわたって、全園児でどろんこ遊びを楽しみました。みんなで一緒に泥団子を作ったり、スコップで大きな穴を掘ったり、どろんこブームに飛び込んだり、子どもたちだけでなく教師も一緒に思い思いに土や水に触れて大はしゃぎしました。思いっきり遊んでたくさんの思い出ができました。



全身泥だらけ！「どろんこおばけだぞ～」

西南学院小学校

観客制限なしの スポーツフェスティバル

5月からスポーツフェスティバルに向けて練習を始めました。今年は、観客制限なしということで、子どもたちの練習にも熱が入っていました。本番当日は、お天気にも恵まれ、練習の成果を多くの人に見てもらうことができました。コロナ禍以前のやり方に戻ったスポーツフェスティバルでは、全力で楽しむ子どもたちの笑顔が印象的でした。



笑顔で競い合う子どもたち

西南学院中学校・高等学校

ゴールボール選手の浦田理恵さんを招き

挑戦や感謝の大切さを学ぶ

中学前期の人権・同和教育として、6月16日に講演会を開催しました。講師は「ロンドン2012パラリンピック競技大会」で金メダル、「東京2020パラリンピック競技大会」で銅メダルを獲得したゴールボール選手の浦田理恵さん（C's Athlete所属）。浦田さんの経験を通して、挑戦することや感謝の気持ちを持つ大切さを学びました。



ゴールボールの魅力についても学ぶ機会も

高校2年生が大濠公園能楽堂で 能と狂言を鑑賞

西南学院高等学校では、毎年2年生を対象に、能狂言鑑賞会を行っています。今年は5月24日に、2年生全員が大濠公園能楽堂に集合し、狂言「柿山伏」と能「土蜘蛛」という2つの演目を鑑賞しました。静寂に包まれた能楽堂に響き渡る和楽器の音色と、演者の方の伸びの良い声に、生徒たちは興味津々に舞台を鑑賞しました。

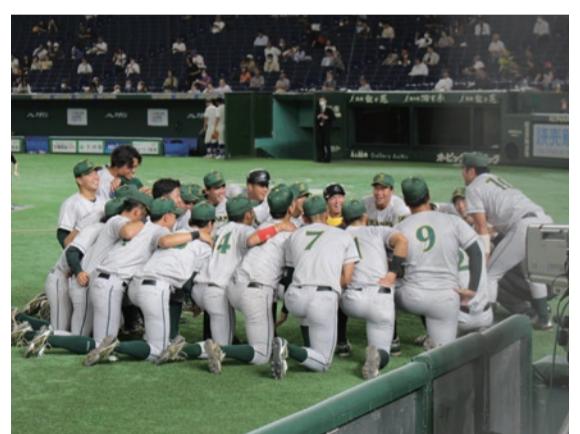


莊厳な雰囲気の舞台で和楽器に触れる体験も

西南学院大学

硬式野球部が第72回 全日本大学野球選手権大会に出場

本学硬式野球部が8年ぶりに全日本大学野球選手権大会に出場しました。初戦の相手は天理大学。6月5日、東京ドームで行われた試合には、応援指導部の学生や関東近郊在住の卒業生など、たくさんの方々が応援に駆けつけました。結果は0-4で敗戦となりましたが、この悔しさをばねにして九州六大学野球秋季リーグでの活躍が期待されます。



円陣を組む選手たち



西南学院中学校・高等学校
歴史・社会科
教諭 伏賀 茲子

歴史やさまざまな知識に
触れられる総合文化・茶道

月3回、「南坊流」の茶道のお稽古に通って13年目になります。先生や茶友と共に静かな時間は唯一無二です。また、お茶会では主客どちらであっても日常とは離れた時を過ごすことができます。茶道は奥深い総合文化。まだ学びの途上ですが、得たことを茶道部の生徒たちに伝えていくことにも喜びを感じています。



お茶会や免状の審査には特別な緊張感があるという。所作や茶道部の指導は、聖書の詩編23編から名が付いた校内の茶室「慈汀庵」で行っている